

落雪による油流出事故を防止するために！

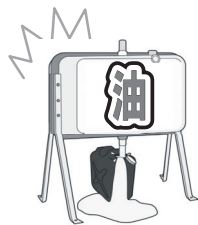
冬期間は、大雪による落雪等で危険物施設やホームタンク等の配管が損傷し、灯油等の油が流出するという事故が発生し易くなります。

油の流出は、火災発生の危険性が高まるだけでなく、周辺環境へ重大な影響を及ぼし、さらには施設の改修や流出油の回収などの多額な経費を要します。

特に、冬期間に発生した流出事故は、融雪とともに被害が拡大する可能性が高まりますので、次の点に十分注意しましょう。

注 意 点

- ① 落雪・積雪による配管の損傷防止やタンクの転倒防止をはかること。
- ② 注油や移し替え等の際には、その場を離れないこと。
- ③ タンクの残油量を常に把握して、異常な減少がないか確認すること。
- ④ 万が一流出した場合は、油の拡散防止を行い、速やかに消防署、警察、藤里町役場（生活環境課）等に通報すること。



危険物の流出は火災拡大の原因となるのはもちろんのこと、環境汚染の大きな原因となります！！

落雪によるガス漏れ事故にご注意を！

これから本格的な降雪期を迎えるにあたり、屋根からの落雪によるプロパンガスボンベの転倒や配管の損傷によるガス漏えい事故の発生が心配されます。

次の事項に注意し、ガス設備の雪害対策をお願いいたします。

雪おろしや除雪の際は、LPガス設備に衝撃を与えないよう、ご注意ください。

屋根からの落雪 屋根からの落雪があった時は、ガス設備の確認をしてください。

となりの家からの落雪 雪おろしの時は、お隣りのガス設備にも注意してください。

ガス設備周りの除雪 **お願い** 緊急時に容器バルブを閉止できるよう、ガス設備周りの通路を除雪により確保しておきましょう。

このほか、LPガス設備の雪害対策についてLPガス販売店にご確認ください。